

(2)「バス活性化方策の具体的な検討にあたっての基本的な考え方の整理」に係る意見への対応状況

番号	委員からの意見（委員名）	対応状況
1	都市圏全体の公共交通におけるバスの位置づけや、他のモードとの関係を整理する必要がある（藤原座長・中村委員）	「バスの担うべき役割」を追記 （別紙 P.1 2 参照）
2	4つの階層は上下関係にあるわけでない（中村委員）	4つの階層を重ね合わせたイメージを追加 （別紙 P.1 3 参照）
3	機能分類（レイヤー）間の連携の検討が必要（藤原座長）	左記の意見を踏まえてバス活性化基本計画及び具体的な活性化方策を検討
4	「乗継利便性の向上」についてももう少し具体的に書くべき（中村委員）	「情報提供の充実や待合環境の改善など」の例を追記 （別紙 P.2 4 (2)参照）
5	「近い将来」とはいつのことかということと、マスタープランと連動したいくつかのタイムスパンに分けて書くべき（中村委員）	およそのタイムスパンについて記載 （別紙 P.2 5 (1) 参照）
6	事業者間の調整をどこが行うのか明示すべき（中村委員）	修文 （別紙 P.2 5 (1) ② 参照）
7	「パッケージ」という表現はわかりにくい（中村委員）	修文 （別紙 P.2 5 (1) ② 参照）
8	「サービス評価システムを構築し」を具体的に記載すべき（西川委員）	修文 （別紙 P.2 5 (1) ③ 参照）
9	「バス事業者相互」の役割について、例えば「バスのイメージをアップするような」といった表現を追加してはどうか。（加藤委員） ※第3回連絡調整会議における意見	修文 （別紙 P.2 5 (2) 参照）
10	市民の役割が表れていない（中村委員）	追記（別紙 P.2 5 (3) 参照）
11	割引をすると利用者が増えない限り減収になり事業者の負担が増えるため、運賃割引制度の検討には覚悟が必要（中村委員）	左記の意見を踏まえてバス活性化基本計画及び具体的な活性化方策を検討
12	バスの特長を伸ばすための施策と、課題を解決するための施策に分けて整理することもできる（伊藤委員）	